

『平成 27 年度 ぎょさい推進全国会議』を金沢市で開催

去る 7 月 9 日、石川県金沢市において、漁業経営を守る『ぎょさい』、『積立ぶらす』の必要性を周知することを目的とし、全国 26 都道府県から、漁業者・漁協役職員をはじめ総勢 135 名の参加を頂き『平成 27 年度 ぎょさい推進全国会議』を開催しました。

会議開催にあたり、本会 西田会長から「本会議を参加者の『ぎょさい』と『積立ぶらす』の取り組みを一層進めることに役立て、普及に向け協力をお願いしたい。」と挨拶しました。続いて、石川県漁業共済組合 筆 組合長から歓迎の挨拶があり、水産庁 梶脇 利彦 漁業保険管理官補佐、石川県農林水産部 棗 左登志 部長から来賓挨拶を頂きました。



会議は議事に入り、本会 濱田常務より事業概況報告を行い、その後、お二方から講演を頂きました。石川県農林水産部 岩本 泰明 次長による『石川県の水産業』の講演では、『ぎょさい』の重要性を受け、石川県で行っている掛金助成の紹介と、県内漁業へ取り組みについて映像を交えながら、特に海女漁について、石川県が無形民俗文化財の指定などで文化的に評価するなど、その継承や振興策等についての説明がありました。

続いて、鹿児島大学水産学部 佐野 雅昭 教授より今年 3 月に出版された著書『[日本人が知らない漁業の大問題](#)』（新潮社）の内容から講演を頂き、「国際化が進み、輸入された安価な魚がスーパーに並ぶことが多く、手軽に調理できる形で濃い味付けで販売され、本当に美味しい魚を食べたことがない子供たちが増えて魚食離れが進んでいる。魚食の豊かさや美味しさをもっと伝えていくべきであり、守るべきである。漁業者を支える『ぎょさい』の仕組みは日本の漁業、魚食を守る上で非常に大切な役割を果たしている。」と述べられました。

会議開催にあたり、温かいご支援を頂きました石川県漁業共済組合、石川県庁や漁協系統等の皆様と、全国各地よりご参加頂きました皆様に心からお礼申し上げます。

平成 27 年度の加入実績（6 月末累計）

（単位：百万円）

区 分	共済金額			漁業者積立額		
	27 年度	26 年度	前年比	27 年度	26 年度	前年比
漁 獲 共 済	48,559	43,553	111%	2,241	1,942	115%
養 殖 共 済	146,331	136,230	107%	5,445	4,293	127%
特 定 養 殖 共 済	1,244	969	128%	93	78	119%
漁 業 施 設 共 済	5,081	4,954	103%			
地 域 共 済	2,823	1,926	147%			
合 計	204,039	187,633	109%	7,779	6,313	123%